

【燃料電池・水素特集】水素インフラ

## カリフォルニア初のガソリンスタンド併設水素ステーション(米国)

シェル・ハイドロジェン社とゼネラルモーターズ(GM)社は、6月末、西ロサンゼルスにあるシェルのガソリンスタンド内に水素燃料補給設備を開設した。ガソリンスタンド併設型の水素ステーションが設置されたのはカリフォルニア州では今回が初めてであり、米国全体でもこれが2つめとなる。シェルとGMは2004年に今回と同様の施設をワシントンDCに設置している。今回開設された施設では、ロサンゼルス市水道・電力局から購入したグリーン電力を利用し、電気分解を行うことによって水素を生産する。この施設はシェルが米国内に開設した3つめの水素ステーションであり、米国エネルギー省(DOE)による水素自動車と基盤技術の実証プロジェクト(Hydrogen Vehicle and Infrastructure Demonstration and Validation Project)の一環で設置された。

サンタモニカ大通りに位置するこの新しい水素ステーションは、主にシボレー(Chevrolet)のプロジェクト・ドライブウェイ(Project Driveway)というテストプロジェクトの参加者によって利用されることになる。このテストプロジェクトは、燃料電池が搭載されたシボレー・イクイノックス100台を顧客に提供し、実社会の中で利用してもらうという試みである。同プロジェクトはロサンゼルス、ニューヨーク市、ワシントンDCの三都市で実施されており、有名人、メディア関係者、政府関係者(DOEでも一台使用中)、ビジネス・パートナー、そしてオンラインで登録した一般の顧客などが参加している<sup>1</sup>。

GMはまた、ロサンゼルス国際空港の近くに水素ステーションを設置する取り組みをClean Energy社と共同で進めている<sup>2</sup>。この施設は夏の終わりから秋の初め頃に開設される予定であり、これが実現すれば、プロジェクト・ドライブウェイの参加者が利用できる燃料ステーションがひとつ増えることになる。全米水素協会(National Hydrogen Association: NHA)によれば、現在米国では61カ所の水素ステーションが稼働しており、さらに37施設の開設が予定されているという<sup>3</sup>。

翻訳：桑原 未知子

出典：California Gains its First Combined Hydrogen and Gasoline Station  
[http://www.eere.energy.gov/states/news\\_detail.cfm/news\\_id=11859](http://www.eere.energy.gov/states/news_detail.cfm/news_id=11859)

<sup>1</sup>[http://media.gm.com/servlet/GatewayServlet?target=http://image.emerald.gm.com/gmnews/viewmonthly\\_releasedetail.do?domain=3&docid=46664](http://media.gm.com/servlet/GatewayServlet?target=http://image.emerald.gm.com/gmnews/viewmonthly_releasedetail.do?domain=3&docid=46664)

<sup>2</sup> <http://www.cleanenergyfuels.com/0108/6-11-08.html>

<sup>3</sup> NHAの水素ステーション・データベース  
<http://www.hydrogenassociation.org/general/fuelingSearch.asp>